

2020年度第6回一般社団法人神奈川県トライアスロン連合理事会議事録

日時：2020年9月3日（水）18時～19時

場所：ZOOM 会議

議長：高崎聡専務理事

出席：伊藤・猪股・岩田・海野・小金澤・杉浦（博）・杉浦（真）・高崎・中島・中山・松村・渡邊

欠席：亀山（議長に委任）・小池（高崎専務理事に委任）・下方（議長に委任）・奈良島（議長に委任）・花井（議長に委任）・和田（議長に委任）

●審議事項

1. 東扇島大会開催の可否について

開催することを全会一致で承認。

参加者が600名を超える見通しが立ち、収支は赤字にならない模様。万全な新型コロナウイルス感染症対策を講じ大会を開催する。ただし、政府及び自治体から非常事態宣言が発令された場合、イベントの中止・延期要請があった場合は中止について再考する。また、川崎市から開催許可が出ていないので、万一開催許可が下りない場合は中止とする。

2. 日産スタジアム大会の開催について

8.19 理事会での議論

日産スタジアムより『11月29日（日）に開催可能。ただしデュアスロンでの開催。』との回答があった。

参考：2019年大会収支実績

収入（88名）	405,000円
支出	1,275,272円
実績	-870,272円

状況に鑑み、デュアスロンでの開催は収支的に厳しい。しかし日産スタジアムとの今後の関係もあるので、練習会の位置づけでの開催を模索する。9月3日（木）の理事会で決定する。

日産スタジアム側に練習会としての開催を打診したが、不可であるとの回答があった。大会としての開催とした場合200名の参加者があっても50万円以上の赤字が見込まれるため、今年の開催は辞退し来年のトライアスロン開催を目指す。

→理事会承認

●報告事項

1. 大磯大会・東扇島大会でのドローン使用について

ドローンの使用はあくまでも試行であり、ドローン担当者はT0業務に支障のない範囲でドローンを飛行させる。

2. 大磯大会・東扇島大会進捗状況及び報告

【RD 杉浦博】

* 大磯大会サプライヤーとの調整は順調に進んでいる。

* 大磯大会の協賛品は、スイムキャップ・水・アミノバイタル（JTU）、マグオンエナジージェル（セロトーレ株）。

* 大会開催の決定に伴い、明日から大会サプライヤーとの調整を行っていく。

* 川崎市の関係監督部署へ許可申請のための計画書を提出する。

【TL 海野】

コロナ禍での新しい試みとして、①T0向けサイトに高崎専務理事による『2020大磯ファミリートライアスロン大会・東扇島大会運営についての要点（KnTU COVID-19対策）』を掲載し、参加するT0に学習してもらう。②オンライン競技説明会を実施する。

【大会本部 杉浦真由美】

両大会ともボディナンバリングはせず、スイムキャップにナンバーを書き込む。

【実行委員長 高崎】

東扇島大会でのモーターバイク運用は3台とし、うち1台は大会本部付きの緊急用（主にメディカル）とする。メディカル以外が使用する場合は大会本部の許可を得る。

3. その他報告

* 川崎市協会

9/27（日）ランセミナーを開催する。

* パラトライアスロン委員会

JTU パラトライアスロン T0 サポートプロジェクトのメンバーによるパラトライアスロン・マニュアルが作成され JTU ホームページに掲載された。目を通してほしい。

* 中山理事

ハンブルグ大会での COVID-19 対策が動画配信されている。参考にしてほしい。

* 総務委員会

次回理事会は 10 月 1 日（木）19 時から、かながわ県民センターで開催。（ZOOM 併用）

以上